

## 危険ドラッグを防止しよう！ 高円寺で駅頭キャンペーン実施しました！

7日(木曜) JR高円寺駅周辺で、杉並保健所と東京都薬物乱用防止推進杉並地区協議会が、危険ドラッグ防止などのため、「薬物乱用防止駅頭キャンペーン」を行いました。高円寺は若者が多く集まり、危険ドラッグ等の販売店舗もある地域です。参加者は、若者に絶対に危険ドラッグに手を出させないという強い思いで、危険ドラッグ防止を訴えました。

---

現在、危険ドラッグによる事故や事件が相次いで発生し、社会問題となっています。

7日(木曜) 杉並保健所は、危険ドラッグ防止を図るため、東京都薬物乱用防止推進杉並地区協議会(全18名)や杉並警察署などとともに、JR高円寺駅周辺で、「薬物乱用防止駅頭キャンペーン」を実施しました。このキャンペーンは、薬物乱用防止のPR活動として、毎年実施されていますが、今年度は台風八号の接近により、7月に予定していたものが中止になっていました。しかし、区民の不安を払拭し、危険ドラッグ防止のためには、さらなる意識啓発が必要との思いから、杉並保健所が、急きょ駅頭キャンペーンを催すこととし、危険ドラッグ防止を呼び掛けることとしました。

高円寺地域は、区内でも若者が多く集まる地域になっています。また、危険ドラッグ等の販売店舗が確認されている地域でもあります。こうしたことから、今回のキャンペーンでは、主に若者を危険ドラッグから守ろうと、青少年に関わる地域の関係団体にも呼び掛けて実施されました。

午前10時、陽射しが強い中、JR高円寺駅には、協議会会員9名のほか、杉並警察署や地域の関係団体のメンバーを含め、総勢26名が集まりました。参加者は、額に汗しながら、約30分にわたり、通行人に薬物乱用の防止を呼びかけました。

駅頭キャンペーンに参加した協議会会員の里見秀和さん(72歳)は、「依存性や習慣性が高い薬物の恐ろしさを知ってもらい、区民の皆さんに『買わない・使わない・勧めない』ということを訴えていきたいです」と熱く話していました。



---

### 【問い合わせ先】

杉並保健所地域保健課  
総務部広報課

TEL : 3391 - 1355

TEL : 3312 - 2111 (代表)